

学生コーディネーター企画

# 「Green Photo 2019」 写真撮影会 & 写真展

2019/11/19～29

「GreenPhoto2019」は、松木日向緑地で首都大が誇る美しい自然を写真に収めながら、その素晴らしさを体感してもらうと同時に、緑地を歩く際にごみを拾うことによって環境保護ボランティアについて考えるきっかけをつくらうと学生コーディネーターが毎年実施している企画です。今年度は「写真撮影会」に加えて、初めて「Green Photo写真展（以下、写真展）」を企画しました。

残念ながら、「写真撮影会」は雨のため開催することができませんでしたが、「写真展」には、学内外問わず多くの方々にご来場いただき、松木日向緑地の魅力を伝えることができました。

## ■「Green Photo写真展」

11月19日(火)～29日(金)に、牧野標本館別館TMUギャラリーにて開催した「写真展」は、大学内にある松木日向緑地の風景を収めた写真の展示を通して、来場者に緑地の魅力を感じてもらうことを目的に企画しました。

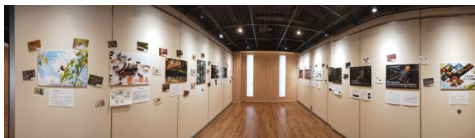
主な展示内容は、昨年度開催した「Green Pho-

to2018 in Autumn」で、参加者が実際に撮影した写真です。松木日向緑地の竹を使って写真の「キャプション」やイベントの広報に使う「立て看板」を作成する等、展示方法にも工夫を凝らしました。緑地の資源を活用し、“松木日向緑地づくり”の写真展を開催することで、普段緑地と関わりがないような方にも興味をもってもらえたのではないかと思います。

さらに、本センター登録団体である「いきもの！サークル東京」にもご協力いただき、ギャラリーの一部で同団体による「松木日向緑地の生き物」や「節足動物」の展示を公開しました。大学祭で「節足動物園」を開園する等、日頃から展示活動を行っていることもあり、臨場感のある写真や、分かりやすく、興味を惹かれる説明文等がたくさん並べられていました。

一部の空間ではありましたが、生き物への愛や同団体の世界観が存分に表現されていました。

来場者からは、「大学構内にこれほど素晴らしい自然があるのは知らなかった」「展示してある写真がそれぞれ個性的で素晴らしかった」「生き物っておもしろいなど思いました！」「緑地への愛と生き物への愛を感じるすばらしい写真展でした！」「こんな素晴らしい“伝統”が生まれつつあることを誇りに思います」等、嬉しいお言葉をたくさんいただきました。



▲「いきもの！サークル東京」による展示

今回、初めて理系棟が並ぶエリアの近くにある牧野標本館別館TMUギャラリーで写真展を開催したことによって、文系棟が並ぶエリアに位置するボランティアセンターを訪れたことがない方にも、私たちの取組を知っていただけたのではないかなと思います。

これからも、様々な企画を通して、より多くの人に松木日向緑地の魅力や、ボランティアセンターの取組を伝えられるよう頑張っていきたいと思います。

(学生コーディネーター 石川)



▲「Green Photo写真展」の様子



▲松木日向緑地の竹で作ったキャプション